



デイ再開のお知らせ

〒244-0002横浜市塚区矢部町125

電話 045-410-7307 FAX 045-410-7308

E-mail: mail@zenryouji.jp <http://www.zenryouji.jp>

発行責任 善了寺 還る家とともに 担当：三根

善了寺デイサービス還る家ともに では、新型コロナウイルスの感染拡大により4月20日～5月31日までデイサービスの一時休業を実施させて頂いております。

新型コロナウイルス感染者は、一時県内でも一日当たり100名弱の新規感染者が確認されておりましたが、現在は10名前後で推移しています。その状況と介護ニーズの状況を照らし合わせたくうえ、6月よりデイサービスの営業を再開させていただきます。

デイの対応・対策

再開にあたって

今まで行ってきた、職員の出勤前の検温・体調管理、席の間隔を広くとる、換気、消毒・清掃の徹底の他

- ・玄関前に簡易洗面台を設置(入室前の手洗いが出来るようになりました)
 - ・飛沫防止ボード作成(対面に座る際に使用します)
 - ・トイレをフタなしからフタつきのものへ変更(排泄物の飛散を防ぐため使用します)
- 等の対策を行っております。

ご利用の皆様へのお願い

- ・ご利用時間は事業所の消毒・清掃の徹底のため1時間短縮して9:30～15:35まで(朝のお迎えは通常通り、ご帰宅が1時間早くなります)をお願いいたします。(請求は実際に要した6時間で請求させていただきます)
- ・1日の利用人数の上限を13人→9人へ変更。(密を避けるため・利用人数が多い際は調整を図らせていただく場合があります)
- ・ご利用前に体温測定し、朝のお迎えの職員に体温をお知らせください。(発熱以外でも通常以外の体調不良時はお休みください)
- ・マスク着用の徹底をお願いいたします。(持参されなかった際はデイのマスクを実費で請求させていただきます)

感染防止に向けた取り組みを実施しておりますが、実際のところ感染リスクがゼロと言い切ることは出来ません。「3つの密」については、それぞれの「密」を避けるように対応しています。

【密室】に対しては、室内換気の徹底や屋外(境内)で過ごす時間を多くとる、などの対応を行います。天候によっては換気回数が限られることがあります。

【密集】に対しては、1日の利用人数の上限を13名→9名へ変更。事業所の広さに限りがありますが、広い間隔をとって過ごしていただきます。

【密着】に対しては、人が人を支えるという介護の特性上避けられない部分がありますが、職員のこまめな手洗いや、対面に座る際は飛沫防止ボードの使用を使用するなど、対応を取らせて。

以上の現状と新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて、ご利用再開のご判断をお願いいたします。

どうぞよろしく申し上げます。

これまでのデイ、これからのデイ、

「早く(往生の)お迎えが着たらいいのに・・・」

「あの時(倒れた時)ポックリ逝ってしまえばよかったのに・・・」

デイで過ごしている時、そのような言葉を耳にすることがあります。その方の歩んできた人生の苦楽・道のを図ろうとしても、僕は43歳。大体の方にとっては半分程度の年齢、青二才。とても図ることは出来ません。

還る家ともにに集う方々は、決して望まなかった要介護状態になり、来たい訳じゃなかったデイに行くことになり、そんなこんなのご縁のなかでともに過ごしています。

『ひとりじゃない。独りぼっちじゃない。仲間がいるのさ。』

忌野清志郎はそう歌っていました。

僕はその歌声に背中を押され、皆さんと接してきました。「望まなかった要介護、望まなかった出会い、でも人生そんな捨てたもんじゃない、仲間がいるのさ」と。それを体現するうえで、精神的・身体的に‘密’であることを大切にしてきました。

時にはともに泣き、ともに笑い。隣に座って同じ景色を眺めながら、その温もりを大切にしてきました。

しかし、新型コロナウイルスの感染を防ぐためには大切にしてきた身体的な‘密’を避けなければなりません。デイの日常で行っていた歌の会やトランプなどのカードゲーム、皆さんとテーブルを囲んでのお菓子作りなどは、感染防止のため自粛しなければなりません。事業所内の消毒・清掃もこまめに行わなくてはなりません。出来ない事ややらなくてはならない事が増えた事で今までの過ごし方と変わる部分も多いかと思えます。暫くの間過ごした方としては、境内での日光浴や散歩、体操、折り紙、しりとり、談笑など手を介さないものが中心となります。

身体的な部分での密は避けなければなりません、精神的な密は今まで以上に大切にしていきたいと思えます。それを言葉にするのは難しいのですが、あえて言えば‘ともに在ること’。その関係の中での想い、感情、衝動を大事にしていきたいと思えます。今は休業中ですが、再会したときに皆さんと喜びを分かち合うことを楽しみにしながら、花や野菜を植え、育てています。

—仲間がいるのさ—

手探りの中でのデイ再開となりますがどうぞよろしく願いいたします。

編集後記

新型コロナウイルスで、お亡くなりになられた方、罹患された方に心より お見舞い申し上げます。還る家ともにをご利用の皆さまには、臨時休業をさせていただいたことにもないご不便をお掛けしておりますことお詫び申し上げます。休業を決めた日、あるスタッフは明日から還る家ともににしばらくこられなくと思うと悲しいと言って涙を流しました。あるスタッフは、この機会に普段出来ない押し入れの掃除をしたいと申し出てくれました。何人かのスタッフは、休業中もお風呂に入れないで困っている方の入浴のボランティアをしてくれました。またあるスタッフは、夏になったらキュウリやトマトの収穫をみんなで楽しめるようにと野菜の苗を植えるに来てくれました。またあるスタッフは、ご利用のみなさんに手紙を書いてくれました。所長は、安否確認や感染対策としてテーブルについたてを作ってくれたり、玄関の前に手洗い場を作ってくれたりして、毎日のようにボランティアに来てくれました。休業中にも色々暖かな気持ちに触れることができました。感染の恐怖は残っていますので元のようなデイには戻れませんが、気持ちを一つにして手探りで再開したいと思えます。よろしく願いいたします。

ボランティアさん

ボランティアの皆様にはいつも大変お世話になっておりますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、横浜市指導のもとボランティア活動をお休み頂いております。状況が落ち着き、横浜市より許可がおりましたら、またお願いしたいと思っております。その折には、宜しく願いいたします。